

事業名	病院事業会計①(医療体制の充実関係)		
-----	--------------------	--	--

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(1)市民病院を核とした医療体制の充実

事業概要	5事業(救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療)及び在宅医療に取り組むとともに、5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)に対する安定した医療提供に努める。	対象	地域住民					
		手段	現診療体制の維持					
		目的	安定した医療提供					
	会計	0 病院事業会計	款		項	目		
	事業の内容	事業費	年度	財源内訳(千円)				事業費計(千円)
				国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			計画額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434
			当初予算額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434
			決算額	3,258	432,200	4,120,440	577,300	5,133,198
			R1	具体的取組内容				
計画			・病院群輪番制当番医の実施(年間183日) ・大川地区小児夜間急病診察室の実施(年間366日) ・地域包括ケア病棟の有効利用		実績		・病院群輪番制当番医の実施:年間183日 ・大川地区小児夜間急病診察室の実施:年間366日 ・地域包括ケア病棟の稼働率:84.6%	
計画額			5,298	65,000	4,336,656	531,832	4,938,786	
当初予算額			5,092	207,400	4,516,399	517,028	5,245,919	
決算額			749,212	67,900	3,749,303	501,394	5,067,809	
R2	具体的取組内容							
計画	・病院群輪番制当番医の実施(年間183日) ・大川地区小児夜間急病診察室の実施(年間365日) ・地域包括ケア病棟の有効利用		実績		・病院群輪番制当番医の実施:年間183日 ・大川地区小児夜間急病診察室の実施:年間365日 ・地域包括ケア病棟の稼働率:81.4%			
計画額	5,298	65,000	4,382,196	581,519	5,034,013			
当初予算額	1,247	14,700	4,579,017	648,872	5,243,836			
決算額					0			
R3	具体的取組内容							
計画	・病院群輪番制当番医の実施(年間182日) ・大川地区小児夜間急病診察室の実施(年間365日) ・地域包括ケア病棟の有効利用		実績					
計画額	5,298	65,000	4,381,927	582,213	5,034,438			
当初予算額					0			
決算額					0			
R4	具体的取組内容							
計画	・病院群輪番制当番医の実施(年間182日) ・大川地区小児夜間急病診察室の実施(年間365日) ・地域包括ケア病棟の有効利用		実績					

第2次さぬき市総合計画中期基本計画実施計画／事務事業評価調書

担当課 市民病院総務企画課

事業名	病院事業会計①(医療体制の充実関係)
-----	--------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(1)市民病院を核とした医療体制の充実

上段:計画値 下段:実績値

総合計画目標指標		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4	
指標データ	1	入院患者数	成果	人	54,900 49,643	54,750 46,478	54,750	54,750
	2	入院患者率(市民)	成果	%	72.1 72.0	72.1 72.5	72.1	72.1
	3	外来患者数	成果	人	124,560 113,114	126,117 103,029	125,598	126,117
	4	外来患者率(市民)	成果	%	69.9 70.7	69.9 70.5	69.9	69.9
	5	患者紹介率	成果	%	34.5 25.2	34.5 29.2	34.5	34.5
	総合計画目標指標以外の指標 (上段:指標名 下段:測定方法及び設定の考え方)		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4
	1	さぬき市及び東かがわ市における病院群輪番制当番医実施日数 休日・時間外における広域行政からの救急患者の受入体制を整備した日数	活動	日	183 183	183 183	182	182
	2	小児夜間急病診察室診療日数 小児を対象とした時間外診療の実施日数	活動	日	366 366	365 365	365	365
	3	救急患者応需率 広域行政から救急搬送の受入要請があった際の応需率	成果	%	80.0 62.1	80.0 67.9	80.0	80.0
	4	小児夜間急病診察室取扱患者数 小児夜間急病診察室で診察を行った患者数	成果	人	2,000 1,848	2,000 612	2,000	2,000

事業名	病院事業会計①(医療体制の充実関係)
-----	--------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(1)市民病院を核とした医療体制の充実

事業の評価	評価基準		着眼点	評価		総合点
	必要性	①事業目的の妥当性	地域や市民にとって役立つ事業内容となっているか。	○	4	
	②行政関与の必要性	民間に委ねることなく行政が関与する必要があるか。	○	4		
有効性	③事業内容の妥当性	地域や市民の中に意識・行動・利便性など何らかの変化を生み出せているか。	○	4		
	④政策効果の有効性	地域や市民の中に生まれた変化が当事者だけでなく周りの地域や市民にも影響を与えているか。	○	4		
効率性	⑤事業経費の妥当性	投入した事業費に見合う成果が得られているか。	○	4		
	⑥政策効果の効率性	政策効果を高めるために部署や組織にとらわれない政策・組織間連携を試みているか。	○	4		
公平性	⑦受益・費用負担の妥当性	事業が影響を与える地域や市民の受益・費用負担を適切に想定できているか。	○	4		
	⑧受益者負担の公平性	事業から生じた利益・費用は関係者間で公平に分配・負担されているか。	△	2		

改善	改善の必要性	「公平性」の観点から改善が必要	今後の方向性	継続
	担当者意見	評価理由 地域住民が安心して生活できるよう、大川二次医療圏域における病院群輪番制の当番病院を1年のうち半数担当するとともに、大川地区小児夜間急病診察室を365日毎日開室し、救急医療を提供している。		
		解決すべき課題と改善策 引き続き地域住民に対して救急医療をはじめとする政策的医療を安定して提供できるよう現診療体制を保持する。		
所属長意見	事業の位置付けを踏まえた総括 人口が減少している現状があり、その上に新型コロナウイルス感染症の流行拡大等の影響もあって利用者の減少傾向が継続している。今後も病院事業に求められている救急医療を今までどおり実施していく。			

第2次さぬき市総合計画中期基本計画実施計画／事務事業評価調査

担当課 市民病院総務企画課

事業名	病院事業会計②(地域医療連携関係)
-----	-------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(2)地域医療の連携推進

事業概要	地域医療の連携推進を図るため、近隣の開業医等との協議会の開催や総合支援室が窓口となって、情報交換を定期的かつ継続的に実施するとともに、行政をはじめとした福祉関係機関同士との連携強化により、地域包括ケアシステムの構築を目指す。 ※事業費再掲		対象	近隣の開業医、行政をはじめとした福祉関係機関等				
			手段	協議会の開催等				
			目的	地域包括ケアシステムの構築				
	会計	0 病院事業会計	款		項		目	
	事業の内容	年度	財源内訳(千円)				事業費計(千円)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		計画額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434	
		当初予算額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434	
		決算額	3,258	432,200	4,120,440	577,300	5,133,198	
		R1	具体的取組内容					
計画			・糖尿病診療を考える会の開催 総合支援室が窓口となり、外部の関係機関との連携を強化		実績	・糖尿病診療を考える会 開催回数:3回、参加人数:114人		
R2		計画額	5,298	65,000	4,336,656	531,832	4,938,786	
		当初予算額	5,092	207,400	4,516,399	517,028	5,245,919	
R3		決算額	749,212	67,900	3,749,303	501,394	5,067,809	
	具体的取組内容							
R4	計画	・糖尿病診療を考える会の開催 総合支援室が窓口となり、外部の関係機関との連携を強化		実績	・糖尿病診療を考える会 開催回数:1回、参加人数:30人			
	計画額	5,298	65,000	4,382,196	581,519	5,034,013		
R5	当初予算額	1,247	14,700	4,579,017	648,872	5,243,836		
	決算額					0		
R6	具体的取組内容							
	計画	・糖尿病診療を考える会の開催 総合支援室が窓口となり、外部の関係機関との連携を強化		実績				
R7	計画額	5,298	65,000	4,381,927	582,213	5,034,438		
	当初予算額					0		
R8	決算額					0		
	具体的取組内容							
R9	計画	・糖尿病診療を考える会の開催 総合支援室が窓口となり、外部の関係機関との連携を強化		実績				

第2次さぬき市総合計画中期基本計画実施計画／事務事業評価調書

担当課	市民病院総務企画課
-----	-----------

事業名	病院事業会計②(地域医療連携関係)
-----	-------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(2)地域医療の連携推進

上段:計画値 下段:実績値

指標データ	総合計画目標指標		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4
	1	入院患者数		成果	人	54,900 49,643	54,750 46,478	54,750
2	入院患者率(市民)		成果	%	72.1 72.0	72.1 72.5	72.1	72.1
3	外来患者数		成果	人	124,560 113,114	126,117 103,029	125,598	126,117
4	外来患者率(市民)		成果	%	69.9 70.7	69.9 70.5	69.9	69.9
5	患者紹介率		成果	%	34.5 25.2	34.5 29.2	34.5	34.5
総合計画目標指標以外の指標 (上段:指標名 下段:測定方法及び設定の考え方)			指標種別	単位	R1	R2	R3	R4
1	糖尿病診療を考える会開催回数		活動	日	6	6	6	6
	さぬき市民病院が主催する医療勉強会の開催回数				3	1		
2	糖尿病診療を考える会延参加人数		成果	人	450	450	450	450
	さぬき市民病院が主催する医療勉強会の実施に伴って参加した延人数				114	30		

事業名	病院事業会計②(地域医療連携関係)
-----	-------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(2)地域医療の連携推進

事業の評価	評価基準		着眼点	評価		総合点
	必要性	①事業目的の妥当性	地域や市民にとって役立つ事業内容となっているか。	○	4	
	②行政関与の必要性	民間に委ねることなく行政が関与する必要があるか。	○	4		
有効性	③事業内容の妥当性	地域や市民の中に意識・行動・利便性など何らかの変化を生み出せているか。	○	4		
	④政策効果の有効性	地域や市民の中に生まれた変化が当事者だけでなく周りの地域や市民にも影響を与えているか。	○	4		
効率性	⑤事業経費の妥当性	投入した事業費に見合う成果が得られているか。	○	4		
	⑥政策効果の効率性	政策効果を高めるために部署や組織にとらわれない政策・組織間連携を試みているか。	△	2		
公平性	⑦受益・費用負担の妥当性	事業が影響を与える地域や市民の受益・費用負担を適切に想定できているか。	△	2		
	⑧受益者負担の公平性	事業から生じた利益・費用は関係者間で公平に分配・負担されているか。	△	2		

改善	改善の必要性	「効率性」の観点から改善が必要	今後の方向性	継続
	担当者意見	評価理由 地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の保健・医療・福祉を担う機関と連携強化を目的とした意見交換等をこれまで積極的に行ってきたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催ができていない。		
		解決すべき課題と改善策 新型コロナウイルス感染症拡大が終息すれば、これまで同様に引き続き地域の保健・医療・福祉を担う機関と意見交換等を行う機会を定期的に持ち、地域包括ケアシステムの構築に向けた協働を推進する。		
所属長意見	事業の位置付けを踏まえた総括 感染症拡大の影響により、地域の医療機関との意見交換会の開催回数が計画に達していない。感染症の拡大が終息し開催ができる環境になれば、開催回数を増やせるよう調整する。			

第2次さぬき市総合計画中期基本計画実施計画／事務事業評価調書

担当課 市民病院総務企画課

事業名	病院事業会計③(人的資源の確保関係)
-----	--------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(3)人的資源の安定的な確保と活用

事業概要	医療の質を維持・向上する上で欠かせないのが専門的な知識を有する人材の安定的な確保と基本理念に基づいた活用である。特に、医師の確保は、病院運営の重要な鍵となることから、適正人員を獲得するため、近隣の大学病院に対する積極的な働き掛けや民間企業からの斡旋、ホームページ等広報媒体を利用した公募活動とともに、必要に応じて、寄附講座の開設も視野に入れた求人活動に努める。 ※事業費再掲		対象	近隣の大学病院等			
			手段	医師派遣に対する積極的な働き掛けや寄附講座の開設			
			目的	医師をはじめとする医療スタッフの安定的な確保			
	会計	0 病院事業会計	款	項	目		
	年度	財源内訳(千円)				事業費計(千円)	
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		計画額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434
		当初予算額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434
		決算額	3,258	432,200	4,120,440	577,300	5,133,198
	R1	具体的取組内容					
計画	・近隣大学への医師派遣に対する積極的な働き掛け ・ホームページ等広報媒体による医師公募 ・寄附講座開設の検討		実績	・産婦人科医師を確保するため、香川大学医学部と寄附講座の開設について協議したが、令和元年度においては必要ないと判断し、開設を見送ることとした。			
	計画額	5,298	65,000	4,336,656	531,832	4,938,786	
	当初予算額	5,092	207,400	4,516,399	517,028	5,245,919	
	決算額	749,212	67,900	3,749,303	501,394	5,067,809	
R2	具体的取組内容						
計画	・近隣大学への医師派遣に対する積極的な働き掛け ・ホームページ等広報媒体による医師公募 ・寄附講座開設の検討		実績	・関連大学への医師派遣に対する積極的な働き掛けにより、産婦人科医師1名が着任している。			
	計画額	5,298	65,000	4,382,196	581,519	5,034,013	
	当初予算額	1,247	14,700	4,579,017	648,872	5,243,836	
	決算額					0	
R3	具体的取組内容						
計画	・近隣大学への医師派遣に対する積極的な働き掛け ・ホームページ等広報媒体による医師公募 ・寄附講座開設の検討		実績				
	計画額	5,298	65,000	4,381,927	582,213	5,034,438	
	当初予算額					0	
	決算額					0	
R4	具体的取組内容						
計画	・近隣大学への医師派遣に対する積極的な働き掛け ・ホームページ等広報媒体による医師公募 ・寄附講座開設の検討		実績				

事業の内容

事業費

第2次さぬき市総合計画中期基本計画実施計画／事務事業評価調書

担当課	市民病院総務企画課
-----	-----------

事業名	病院事業会計③(人的資源の確保関係)
-----	--------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(3)人的資源の安定的な確保と活用

上段:計画値 下段:実績値

指標データ	総合計画目標指標		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4
	1	入院患者数	成果	人	54,900 49,643	54,750 46,478	54,750	54,750
2	入院患者率(市民)	成果	%	72.1 72.0	72.1 72.5	72.1	72.1	
3	外来患者数	成果	人	124,560 113,114	126,117 103,029	125,598	126,117	
4	外来患者率(市民)	成果	%	69.9 70.7	69.9 70.5	69.9	69.9	
5	患者紹介率	成果	%	34.5 25.2	34.5 29.2	34.5	34.5	
総合計画目標指標以外の指標 (上段:指標名 下段:測定方法及び設定の考え方)			指標種別	単位	R1	R2	R3	R4
1	産婦人科医を確保するために連携の強化を図る 大学数	活動	校	1	1	1	1	
	近隣の大学数			1	1			
2	産婦人科医数	成果	人	1	1	1	1	
	分べんを取り扱うに当たり必要な最低医師数			0	1			



事業名	病院事業会計③(人的資源の確保関係)
-----	--------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(3)人的資源の安定的な確保と活用

事業の評価	評価基準		着眼点	評価		総合点
	必要性	①事業目的の妥当性	②行政関与の必要性	地域や市民にとって役立つ事業内容となっているか。	○	
有効性	③事業内容の妥当性	④政策効果の有効性	地域や市民の中に意識・行動・利便性など何らかの変化を生み出せているか。	○	4	
	効率性	⑤事業経費の妥当性	⑥政策効果の効率性	地域や市民の中に生まれた変化が当事者だけでなく周りの地域や市民にも影響を与えているか。	○	4
公平性		⑦受益・費用負担の妥当性	⑧受益者負担の公平性	投入した事業費に見合う成果が得られているか。	△	2
				政策効果を高めるために部署や組織にとらわれない政策・組織間連携を試みているか。	○	4
			事業が影響を与える地域や市民の受益・費用負担を適切に想定できているか。	○	4	
			事業から生じた利益・費用は関係者間で公平に分配・負担されているか。	△	2	

改善	改善の必要性	「効率性」の観点から改善が必要	今後の方向性	継続
	担当者意見	評価理由 慢性的な医師不足という状況に変わりがないが、地域中核病院として地域住民の生命と健康を守るべく、一般医療や救急医療、災害医療、周産期医療、小児医療などの政策的医療を提供する取組を推進した。 解決すべき課題と改善策 地域偏在や特定の診療科における医師不足は未だ解消されておらず、今後も安定して医師を確保することが困難であることに変わりなく、救急医療における応需率の低下、へき地医療に対する協力体制の弱体化、専門医療の供給不足など、政策的事業を継続していくに当たっての課題が山積している。 なお、産婦人科医師については、令和2年10月に着任し、分べんを再開している。		
	所属長意見	事業の位置付けを踏まえた総括 まだまだ、医師の不足の課題については解消しておらず、今後も大学との連携を図っていく。		

第2次さぬき市総合計画中期基本計画実施計画／事務事業評価調書

担当課 市民病院総務企画課

事業名	病院事業会計④(地域に開かれた病院関係)
-----	----------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(4)地域に開かれた病院づくり

事業概要	地域住民への健康に関する啓発活動等の一環として実施している市民公開講座や健康出前講座、和やかな雰囲気の中で市民病院の有する医療資源や医療機能を紹介する病院フェスティバルを通じて、市民病院が市民に親しまれ、安心して医療を享受できる「開かれた病院」となるよう努める。 ※事業費再掲				対象	地域住民	
					手段	健康講座等の実施	
					目的	地域に根ざした医療の提供	
	会計	0	病院事業会計	款	項	目	
	年度	財源内訳(千円)					事業費計(千円)
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	R1	計画額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434
		当初予算額	5,298	451,600	4,295,169	583,367	5,335,434
		決算額	3,258	432,200	4,120,440	577,300	5,133,198
	R1	具体的取組内容					
計画		<ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座や健康出前講座の開催</li> <li>さぬき市民病院フェスティバルの開催</li> <li>地域住民の健康に関する啓発活動の実施</li> </ul>			実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座の開催 開催回数:1回、参加人数:134人</li> <li>健康出前講座の開催 開催回数:19回、参加人数:612人</li> <li>さぬき市民病院フェスティバル 開催回数:1回、参加人数:252人</li> </ul>	
R2	計画額	5,298	65,000	4,336,656	531,832	4,938,786	
	当初予算額	5,092	207,400	4,516,399	517,028	5,245,919	
	決算額	749,212	67,900	3,749,303	501,394	5,067,809	
R2	具体的取組内容						
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座や健康出前講座の開催</li> <li>さぬき市民病院フェスティバルの開催</li> <li>地域住民の健康に関する啓発活動の実施</li> </ul>			実績	市民公開講座、健康出前講座及びさぬき市民病院フェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止	
R3	計画額	5,298	65,000	4,382,196	581,519	5,034,013	
	当初予算額	1,247	14,700	4,579,017	648,872	5,243,836	
	決算額					0	
R3	具体的取組内容						
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座や健康出前講座の開催</li> <li>さぬき市民病院フェスティバルの開催</li> <li>地域住民の健康に関する啓発活動の実施</li> </ul>			実績		
R4	計画額	5,298	65,000	4,381,927	582,213	5,034,438	
	当初予算額					0	
	決算額					0	
R4	具体的取組内容						
	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座や健康出前講座の開催</li> <li>さぬき市民病院フェスティバルの開催</li> <li>地域住民の健康に関する啓発活動の実施</li> </ul>			実績		

事業の内容

事業費

第2次さぬき市総合計画中期基本計画実施計画／事務事業評価調書

担当課	市民病院総務企画課
-----	-----------

事業名	病院事業会計④(地域に開かれた病院関係)
-----	----------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(4)地域に開かれた病院づくり

上段:計画値 下段:実績値

指標データ	総合計画目標指標		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4
	1	入院患者数		成果	人	54,900 49,643	54,750 46,478	54,750
2	入院患者率(市民)		成果	%	72.1 72.0	72.1 72.5	72.1	72.1
3	外来患者数		成果	人	124,560 113,114	126,117 103,029	125,598	126,117
4	外来患者率(市民)		成果	%	69.9 70.7	69.9 70.5	69.9	69.9
5	患者紹介率		成果	%	34.5 25.2	34.5 29.2	34.5	34.5
総合計画目標指標以外の指標 (上段:指標名 下段:測定方法及び設定の考え方)			指標種別	単位	R1	R2	R3	R4
1	市民公開講座等の実施回数		活動	回	27	27	27	27
	市民公開講座及び健康出前講座の実施回数				20	0		
2	市民公開講座等の延参加人数		成果	人	850	850	850	850
	市民公開講座及び健康出前講座の実施に伴って参加した延人数				746	0		

第2次さぬき市総合計画中期基本計画実施計画／事務事業評価調書

担当課 市民病院総務企画課

事業名	病院事業会計④(地域に開かれた病院関係)
-----	----------------------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(4)地域に開かれた病院づくり

事業の評価	評価基準		着眼点	評価		総合点
	必要性	①事業目的の妥当性	地域や市民にとって役立つ事業内容となっているか。	○	4	
	②行政関与の必要性	民間に委ねることなく行政が関与する必要があるか。	○	4		
有効性	③事業内容の妥当性	地域や市民の中に意識・行動・利便性など何らかの変化を生み出せているか。	○	4		
	④政策効果の有効性	地域や市民の中に生まれた変化が当事者だけでなく周りの地域や市民にも影響を与えているか。	○	4		
効率性	⑤事業経費の妥当性	投入した事業費に見合う成果が得られているか。	○	4		
	⑥政策効果の効率性	政策効果を高めるために部署や組織にとらわれない政策・組織間連携を試みているか。	○	4		
公平性	⑦受益・費用負担の妥当性	事業が影響を与える地域や市民の受益・費用負担を適切に想定できているか。	○	4		
	⑧受益者負担の公平性	事業から生じた利益・費用は関係者間で公平に分配・負担されているか。	△	2		

改善	改善の必要性	「公平性」の観点から改善が必要	今後の方向性	継続
	担当者意見	評価理由 例年は、健康出前講座や市民公開講座の開催を通じて地域住民の健康維持に貢献するとともに、疾病予防に対する正しい知識の普及啓発活動に取り組むこととしているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により住民が集まる集会を取りやめた。		
		解決すべき課題と改善策 これからも地域住民の健康維持に貢献できるよう、健康出前講座、市民公開講座及び病院祭の開催を継続する。		
所属長意見	事業の位置付けを踏まえた総括 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年度の各種講座を開催中止としたことから開催実績としてはないが、感染症終息後に向けて、今後も開かれた病院を目指す取組を継続するため準備する。			

第2次さぬき市総合計画中期基本計画実施計画／事務事業評価調書

担当課 津田診療所

事業名	津田診療所事業
-----	---------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(5)診療所の継続的な運営

事業の内容	事業概要	地域の身近な公的1次医療機関として、さぬき市民病院等との連携を図りながら、より充実した医療を提供する。保健活動や介護予防活動にも努め、地域に密着した診療所としての役割を担う。		対象	地域住民			
		手段	地域医療連携 充実した医療提供(専門医を生かした診療)					
		目的	広域的な患者の確保及び診療所の健全で安定的な運用					
	会計	52 津田診療所事業特別会計	款		項		目	
	事業費	年度	財源内訳(千円)				事業費計(千円)	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		R1	計画額	0	0	109,700	300	110,000
			当初予算額	0	0	109,700	300	110,000
			決算額	0	0	102,125	0	102,125
		R1	具体的取組内容					
計画			診療所の運営ならびに当施設の維持管理を行う。 「リハビリ教室」、「健康教室」を実施する。		実績	さぬき市民病院から副院長(内科医師)を所長として迎え、さぬき市民病院との連携を強化するとともに、所長の専門性(糖尿病等)を生かして地域住民の重症化予防を推進した。 「リハビリ教室」「健康教室」等を継続して開催し、地域に根差した予防医療や保健活動を行った。		
計画額			0	0	104,700	300	105,000	
R2		当初予算額	0	0	108,700	300	109,000	
		決算額	1,700	0	97,090	2,100	100,890	
	具体的取組内容							
R2	計画	診療所の運営ならびに当施設の維持管理を行う。 「リハビリ教室」、「健康教室」を実施する。		実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国の感染症緊急包括支援事業を活用し、施設内の整備を行った。 また、発熱患者の対応のため、県の指定を受け抗原検査を実施する体制を整えた。 感染症拡大防止のため、リハビリ教室、健康教室等を中止した。			
	計画額	0	0	104,700	300	105,000		
	当初予算額	15,939	0	108,761	300	125,000		
R3	決算額					0		
	具体的取組内容							
	計画	診療所の運営ならびに当施設の維持管理を行う。 「リハビリ教室」、「健康教室」を実施する。		実績				
R4	計画額	0	0	104,700	300	105,000		
	当初予算額					0		
	決算額					0		
具体的取組内容								
R4	計画	診療所の運営ならびに当施設の維持管理を行う。 「リハビリ教室」、「健康教室」を実施する。		実績				

第2次さぬき市総合計画中期基本計画実施計画／事務事業評価調書

担当課	津田診療所
-----	-------

事業名	津田診療所事業
-----	---------

施策体系	基本目標	基本施策	主要施策
	Ⅲ.健全な心身と思いやりを育むまち	19 地域医療の充実	(5)診療所の継続的な運営

上段:計画値 下段:実績値

指標データ	総合計画目標指標		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4
	1							
2								
1	総合計画目標指標以外の指標 (上段:指標名 下段:測定方法及び設定の考え方)		指標種別	単位	R1	R2	R3	R4
	利用患者延数		活動	人	15,550	15,000	15,000	15,000
	1日当たりの平均患者数				15,344	13,880		
2	診療報酬		成果	千円	110,000	105,000	105,000	105,000
	外来収入+受託事業収入				100,760	96,677		

事業の評価	評価基準		着眼点	評価		総合点
	必要性	①事業目的の妥当性	地域や市民にとって役立つ事業内容となっているか。	○	4	
	②行政関与の必要性	民間に委ねることなく行政が関与する必要があるか。	○	4		
有効性	③事業内容の妥当性	地域や市民の中に意識・行動・利便性など何らかの変化を生み出せているか。	○	4		
	④政策効果の有効性	地域や市民の中に生まれた変化が当事者だけでなく周りの地域や市民にも影響を与えているか。	△	2		
効率性	⑤事業経費の妥当性	投入した事業費に見合う成果が得られているか。	○	4		
	⑥政策効果の効率性	政策効果を高めるために部署や組織にとらわれない政策・組織間連携を試みているか。	△	2		
公平性	⑦受益・費用負担の妥当性	事業が影響を与える地域や市民の受益・費用負担を適切に想定できているか。	○	4		
	⑧受益者負担の公平性	事業から生じた利益・費用は関係者間で公平に分配・負担されているか。	○	4		

改善	改善の必要性	「有効性」の観点から改善が必要	今後の方向性	継続
	担当者意見	評価理由	新型コロナウイルス感染対策のため、施設内の環境整備を行い、発熱患者の待機所を新たに設置し、抗原検査を実施できる体制を整えた。	
		解決すべき課題と改善策	コロナ禍により、地域住民の不安に対応するため抗原検査や抗体検査を実施し、コロナワクチン接種に積極的に取り組む。	
所属長意見	事業の位置付けを踏まえた総括	市の公的診療所として、現状の課題に積極的に取り組み、地域住民が安全・安心に受診できる環境を整える。		